



順天堂大学医学部附属順天堂医院 がん治療センターニューズレター

平成 23 年 1 月 第 6 号

がん治療センターでは、
病気の治療だけではなく、患者さんやご家族の不安・悩みを解消する心のケアなどを行っています。

目次

- 表紙 「新年のご挨拶」
順天堂医院 院長 新井 一
がん治療センタースタッフからのご挨拶
- 2 ページ 「がんの常識・非常識」
人体病理病態学講座 先任准教授 三富 弘之
・がん治療センターからのお知らせ
- 3 ページ 取材ノート「ドラッグラグがなくなる！」
消化器内科 助教 加藤 順子
・院内がん登録 2008 報告 第 2 回
- 4 ページ 「旬の食材」 栄養部 岩岡 愛美
・質問コーナー ・編集後記
・編集後記

新年のご挨拶



順天堂医院 院長

新井 一



新年明けましておめでとうございます。
順天堂医院は、昨年 4 月に厚生労働省より地域がん診療連携拠点病院の指定を受けました。皆様に従来にも増してより質の高いがん診療を提供すべく、決意を新たにしているところです。さて、順天堂医院では「がん治療センター」を中心に、専門分野の医師だけではなく看護師、薬剤師、医学物理士、放射線技師、栄養士、医療心理士などが協力して、患者さんに対して「全人的がん医療」を実践しています。治療ばかりでなく日常生活や社会生活を送るにあたっての疑問・不安などについても、ご遠慮なく「がん治療センター」にご相談いただきたいと思います。

がん治療センタースタッフからのご挨拶



皆様、良いお年をお迎えになったことと存じます。
昨年は順天堂医院も地域がん診療連携拠点病院に指定されました。平成 16 年から始まった第 3 次がん対策 10 年計画の一環として全国の 2 次医療圏に 1 施設ずつが指定されていますが、がんによる死亡の 20% 減、がんの患者さんやご家族の苦痛の軽減・療養生活の質の向上を目指しています。がんのハイレベルの治療だけではなく、皆様が質の高い生活が送れますよう、がん診療のトータルケアセンターを目指して私どもスタッフ一同、今年も頑張りたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。 センター長 鶴丸昌彦

「がんの常識・非常識」

第一回がんの基礎知識

人体病理病態学講座 先任准教授 三富 弘之



がん発生の仕組みと特徴

人間の体は、臓器固有の細胞とそれを支持する細胞から出来ており、「がん」はそれらすべての細胞から発生する可能性のある異常な細胞の塊です。がん細胞は、正常な細胞の遺伝子に長い時間をかけて、二個から十個程度の傷がつくこと（遺伝子異常という）により発生します（図1）。がんには次のような三つの特徴があります。自律性増殖：がん細胞はヒト正常細胞の新陳代謝を無視して、勝手に増殖し続けます。浸潤と転移：周囲組織を壊しながら大きくなる（浸潤）とともに、体の至る所に飛び火（転移）し、新たながんが出来てしまいます。悪液質：がんが正常細胞の摂取するはずの栄養を搾取し、体が衰弱してゆきます。

がんの種類

「がん」は、上皮細胞から発生するもの、造血細胞から発生するもの（血液系のがん）、間質支持細胞から発生するもの

（肉腫と呼ぶ）に大きく分類されますが、ひらがなの「がん」は悪性腫瘍全体を示すときに用いられ、上皮細胞に発生するがんに限定して漢字の「癌」という言葉を用いることが多いようです。上皮細胞の「癌」には、肺癌、乳癌、胃癌、大腸癌、子宮癌等があり、造血器の「がん」には、白血病、悪性リンパ腫等があります。一方、肉腫の代表的なものには、骨肉腫、軟骨肉腫、横紋筋肉腫、平滑筋肉腫等があり、それぞれ扱う診療科が異なります。

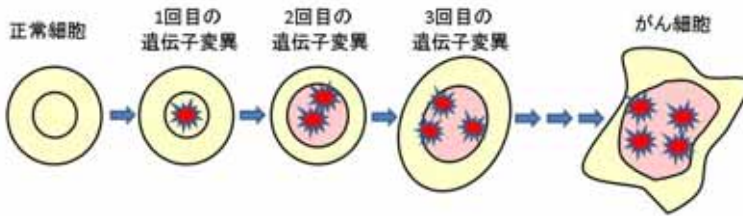


図1 癌発生の仕組み

怖くない「がん」と怖い「がん」

上皮内癌は、子宮頸部癌などで良く知られていますが、上皮細胞と間質細胞を境界する膜（基底膜）を破って浸潤していない状態を指し、切除すれば完治しますので、怖くない「がん」と言えます。一方、前述した浸潤、転移、悪液質を来すものは、一般的に怖がられている「がん」のことで、日常の診療現場では、この二つを区別して治療法が選択されています。

がん治療センターからのお知らせ

・がん茶論

患者さんやご家族と医療者が自由に語り、話し合う場です。（定員は二十名）

場所：三号館二階がん治療センター

時間：午後一時三十分～三時三十分

* 一月十五日（土）

* 二月十九日（土）

* 三月十九日（土）

・ミニレクチャー

患者さん向けのレクチャーです。

場所：三号館二階がん治療センター

時間：午前十時～十一時三十分

* 一月二十二日（土）

* 二月二十六日（土）

* 三月二十六日（土）

取材ノート「ドラッグ・ラグがなくなる！」

消化器内科 助教 加藤 順子

日本では薬剤の認可が下りるのが遅く、海外で使用されている薬剤が使用できないドラッグ・ラグが問題になることがありますが、最近ではこの問題が解決されつつあるようです。今回は大腸がんの化学療法について、消化器内科助教の加藤先生にお話を伺いました。

がん治療センター担当者（以下がん治）：最近、大腸がんの化学療法ではドラッグ・ラグがなくなつたとお聞きしたのですが。
加藤：はい、大腸癌治療ガイドラインは、二〇一〇年に改訂されましたが、このガイドラインでは、使用可能な薬剤の範囲も欧米とほぼ同じとなつており、ドラッグ・ラグのないものになっていきます。日本では経口剤と併用できるレジメン（治療で、投与する薬剤の種類や量、期間、手順などを示した計画書）が欧米よ



がん治：患者さんにとっては、良い方向に進んでいるということですね。
加藤：その通りなのですが、どんなに化学療法の幅が広がっても、きちんとレジメン通

り広がり、選択肢が広がつていきます。
がん治：以前と比べてお薬の認可が出やすくなつたのでしょうか？
加藤：これまでは、薬剤の認可には、国内で十分な臨床試験を行い、良い結果を得ることが必要でしたが、最近では、海外での臨床試験の結果があれば、比較的スムーズに認可が受けられようになりました。

りに治療を進めなくては十分な結果は期待できません。計画通りに治療を進めるには、患者さんご自身による副作用の管理も大切になります。例えば、しびれが重大な副作用につながる場合もありますが、見た目では分かりませんが、患者さんからお話しいただくしかないのです。化学療法中に

体調の異常を感じたら、必ず担当医にご相談いただければと思います。
がん治：どうもありがとうございます。
 （担当：富宇賀・小澤）
 加藤 順子（かとう じゅんこ）
 平成八年順天堂大学医学部卒業
 医学博士

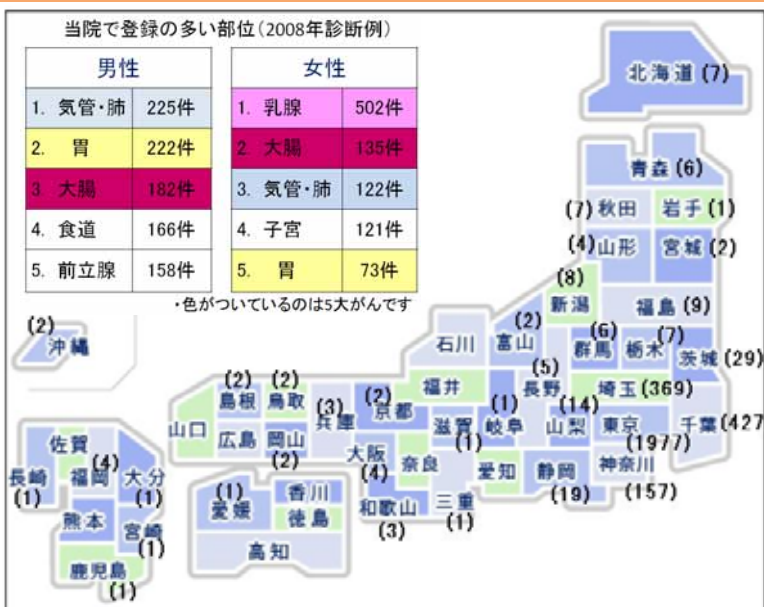
院内がん登録 2008 報告 - 第 2 回 -

2008 年度に本郷の順天堂医院を受診(初診のみ)されたがんの患者さんは 3,088 名でした。下図に示すように全国から患者さんがみえています。罹患率の高いがんとして胃がん、肺がん、大腸がん、肝臓がん、乳がんを5大がんと言っていますが、順天堂医院での5大がんは性別に見ますと表のような順序でした。

当院で登録の多い部位 (2008年診断例)

男性		女性	
1. 気管・肺	225件	1. 乳腺	502件
2. 胃	222件	2. 大腸	135件
3. 大腸	182件	3. 気管・肺	122件
4. 食道	166件	4. 子宮	121件
5. 前立腺	158件	5. 胃	73件

・色がついているのは5大がんです





旬の食材

栄養部 岩岡 愛美

今回は旬の食材の中でも「京野菜」について紹介したいと思います。
京都盆地の風土と農家の工夫により貴重な食材として生まれ、継承されてきた京野菜は味も色も濃く、旬の食材を尊ぶ茶道の「懐石料理」「お番菜」など、京料理の最も大切な素材として今日までの伝統を磨き続けられてきました。

この時期、底冷えが厳しい京都は京野菜が一番美味しくなる季節となります。
“ほんまもん”の香りや食感を、この冬のご馳走にしてみたいはいかがですか？



九条ねぎ ... 霜に当たると「ぬめり」が出て柔らかくなる葉っぱの部分に九条ねぎ本来の旨みがあり、底冷えする冬の京都では鍋物やうどんの薬味に重宝されます。

聖護院だいこん ... 料理法は煮物が一番です。なめらかで上品な風味が特長です。
ビタミンCが豊富。

聖護院かぶ ... 実が柔らかく、淡白な味わいがあります。

京漬物「千枚漬」の材料としても有名。

ビタミンCが豊富で消化酵素を多く含んでおり、

蕪蒸し・煮物以外にもサラダや浅漬けもおすすめてです。



みず菜 ... シャキシャキとした歯ごたえが人気の野菜。鍋料理や油揚げの炊き物にも欠かせない野菜です。ビタミンCやEを多く含むのでサラダ感覚でどうぞ。

質問コーナー

(第6回市民公開講座の質疑応答より)

Q: 胃がんの発生とピロリ菌とは何か関係があるのでしょうか？

A: ピロリ菌が胃がんの直接的な原因となることはありませんが、ピロリ菌による慢性的な胃炎から胃がんになることもありますから、間接的には胃がんの原因となりうると言えます。早期の胃がんの手術には、お腹を切らず内視鏡を使って行うものもあります。治療方法の進歩により胃がんの死亡率は減少しております。定期的に検診を受けられることをお勧めします。 (回答者: 食道・胃外科 教授 梶山 美明)

がん治療センターでは...

がんの治療のみならず、患者さんやご家族の不安、悩みに対するケアを目的として、電話相談、緩和ケア外来、がんセカンドオピニオン外来、コメディカル相談、がん茶論、外来化学療法などの総合的な取り組みを行っています。どうぞお気軽に、何でも下記連絡先までご相談ください。



編集後記

あけましておめでとつございませす。新しい年を迎え、心機一転、頑張っていこうと考えております。私が順天堂医院がん治療センターでお仕事させてもらうようになって今年で3年になります。今までの自分を振り返ってみると、自分で生きてきたというより、皆さんに生かされてきた自分に気がきます。患者相談室では医学物理士として、これまでに千人近くの患者さんとご家族に、放射線治療に関するご説明をさせてもらっています。最近、市民公開講座で放射線治療に関する最新技術について講演させてもらったのですが、私が以前患者相談室でお話した患者さんと会場でお会いしました。軽く挨拶した程度だったのですが、その方がとても素敵な笑顔を見せて下さり、何だかとても嬉しい気分になりました。今更ですが、私は患者さんの笑顔に支えられてこの仕事を続けることに気がきました。編集担当・小澤 修一

がん治療センターニューズレター

平成二十三年一月 第六号

創刊: 平成二十一年五月(年三回発行)

発行元: 順天堂医院 がん治療センター

住所: 東京都文京区本郷三 一 三三

電話番号 & ファクシミリ:

〇三 五八〇二 八一九六

Eメール: cancer@untendo.ac.jp

ホームページ: http://www.juntendo.ac.jp/hospital/cancer/index.htm

c.jp/hospital/cancer/index.htm